

2026年6月16日

ソフトバンクグループ株式会社
ソフトバンク株式会社
SB OAI Japan 合同会社

日本の重要インフラの防御に向けて、OpenAI の技術を活用したサイバーセキュリティ対策ソリューション 「Patching as a Service」を提供開始

～企業向けに、脆弱性診断から修復方針の策定、実装の提案までを一気通貫で支援～

ソフトバンクグループ（ソフトバンクグループ株式会社、ソフトバンク株式会社および SB OAI Japan 合同会社）は、企業のサイバーセキュリティの脆弱性評価と修復方針の策定を支援するために設計された OpenAI Group PBC（以下「OpenAI」）の高度な AI（人工知能）技術を活用した、サイバーセキュリティ対策ソリューション「Patching as a Service（パッチング・アズ・ア・サービス）」の提供を開始します。「Patching as a Service」は、OpenAI の技術とソフトバンク株式会社の運用ノウハウを組み合わせ、脆弱性診断から修復方針の策定や実装の提案まで法人のお客さまを一気通貫で支援するソリューションで、SB OAI Japan 合同会社が日本国内で順次提供します。まず、ソフトバンク株式会社が、日本国内の重要インフラを支える一部の企業に対し、脆弱性診断の申し込み受付について順次案内します。

昨今、悪意ある攻撃者による AI を悪用したサイバー攻撃の自動化および大規模化が進んでおり、重要インフラを支えるシステムに対する脅威はこれまで以上に深刻化しています。攻撃手法は巧妙化・自動化が進み、脆弱性が悪用されて攻撃が行われた場合、システム停止や情報漏えい、サービス提供の中断など、事業継続や社会に大きな影響を及ぼすリスクがあります。AI モデルは幅広いサイバーセキュリティ業務を支援できる一方で、サイバーセキュリティに特化した専門家チームは、脆弱性診断や優先順位付け、修復方針の策定において引き続き重要な役割を果たします。AI モデルの性能が急速に進化し続ける昨今の市場環境において、潜在する脆弱性を継続的に特定し、適切な対応を迅速に検討する難易度が、これまで以上に高まっています。

ソフトバンク株式会社は、自社のシステムを対象に、OpenAI のサイバーセキュリティ技術を活用した大規模な脆弱性診断を実施し、OpenAI のサイバーセキュリティ技術が脆弱性の特定に有効であることを確認しました。また、ソフトバンク株式会社のサイバーセキュリティ部門がこの取り組みを通して得た知見を、「Patching as a Service」の展開に活かしていきます。

ソフトバンクグループ株式会社の代表取締役 会長兼社長執行役員である孫正義は、次のように述べています。

「今後、最先端 AI 活用のサイバー攻撃が氾濫する。我々は最先端 AI で守り抜きたい」

ソフトバンク株式会社の代表取締役 社長執行役員 兼 CEO である宮川潤一は、次のように述べています。

「OpenAI のサイバーセキュリティ技術の活用で得た実践的な知見を武器に、日本の重要インフラを狙う高度化するサイバー脅威に立ち向かいます」

OpenAI の CEO であるサム・アルトマン（Sam Altman）は、次のように述べています。

「AI はサイバーセキュリティに変革をもたらしており、私たちは、防御側の取り組みを加速させる持続的なプログラムの構築に注力しています。ソフトバンクとの協業を通して、OpenAI のサイバーモデルがもたらす革新的な価値を、日本のより多くの企業に提供し、私たちが日々頼りにしているシス

テムの強化に貢献できることをうれしく思います」

- **SoftBank** およびソフトバンクの名称、ロゴは、日本国およびその他の国におけるソフトバンクグループ株式会社の登録商標または商標です。
- その他、このプレスリリースに記載されている会社名および製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。